

事業所名 児童発達支援事業所 ハビステ伊集院

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

2 月

6 日

法人（事業所）理念		様々な課題を抱えてたどり着いた子ども達が、初めての体験・経験を通じて成長に必要なスキルを獲得し、次の行き先に向け出発する道案内の場所。ただの通過点でも、長く留まっても旅立つまで寄り添いながら良い出発を後押ししたいとの思いで子どもたちと向き合っております。					
支援方針		子どもの成長には様々な経験が必要ですが「経験を取り入れる力」には個人で大きなばらつきがあります。そのばらつきの部分に対する評価を適切に行い、個々の能力に寄り添った支援を行うことで療育の効果を最大限に引き出します。					
営業時間		8 時	30 分から	16 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	立位保持訓練・座位保持訓練・摂食、嚥下訓練・食事動作訓練・構造化 健康状態の把握、健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。基本的な生活スキルの獲得、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的能力を獲得できるよう支援する。構造化により様々な活動を通して学習できるよう環境を整える。特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。 健康の増進、睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身につけられるよう支援する。					
	運動・感覚	立位保持訓練・歩行訓練・協調運動訓練・感覚統合訓練 姿勢と運動の基本的能力の向上。日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動の改善及び習得。 保有する感覚の活用。視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊び等を通して支援する。 感覚の特性（過敏や鈍麻）への対応。感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。					
	認知・行動	認知訓練 感覚統合訓練 ビジントレーニング 感覚や認知の活用。視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して必要な情報を収集し、認知機能の発達を促す支援を行う。 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成、物の機能や形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 行動障害への予防及び対応、感覚や認知の偏り、コミュニケーション困難から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	言語訓練・構音訓練 言語の形成と活用。具体的な事物や体験とことばの意味を結び付け自発的な発声を促す支援を行う。 話し言葉や各種の文字、記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなどコミュニケーションの支援を行う。 読み書き能力の向上のための支援。特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。					
	人間関係 社会性	レクリエーション活動 ソーシャルスキルトレーニング 周囲に無関心である1人遊びの状態から並行遊び・協同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援する。 集団に参加するための手順やルールを理解し遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 大人を介在して、自分のできることできないことなど自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。					
家族支援		家族支援プログラムの実施 家族面談（子供に関する情報の提供と定期的な支援調整 子育て上の課題の聞き取りと必要な助言） Instagramでの情報発信		移行支援		保育所等との援助方針や支援内容等の共有 保育所等との支援方法の伝達 移行を想定した発達評価 保育所等の受け入れ態勢づくりへの協力	
地域支援・地域連携		協議会等への参加 要保護児童対策地域協議会等への参加		職員の質の向上		法人内公開療育 PT・OT・ST事業所内研修 職員スキルアップ研修 人権擁護研修 感染対策研修 虐待防止防止研修 避難訓練	
主な行事等		避難訓練 就学相談会					